

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第7期第7回相模原市中央区区民会議小委員会（グループ3）		
事務局 (担当課)		中央区役所区政策課 電話042-769-9802（直通）		
開催日時		令和5年10月31日（火） 9時30分～10時00分		
開催場所		相模原市民会館 2階 講習室		
出席者	委員	5人（別紙のとおり）		
	その他	0人		
	事務局	2人（区政策課職員）		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人	
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	<p>開 会</p> <p>1 議題 （1）第7期中央区区民会議重点行動について ・「地域ネットワークの充実」、「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」</p> <p>閉 会</p>			
会議結果概要	<p>■「地域ネットワークの充実」 提言書（案）を全体会へ諮ることとした。</p> <p>■「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」 自然環境を守る意識啓発の具体的な取組について引き続き検討していくこととした。</p>			

主な内容は次のとおり

開 会

事務局から、運営に係る事務説明を行った。

—傍聴希望者 なし—

1 議題

(1) 第7期中央区区民会議重点行動について

(事務局)

配布している資料3の提言書(案)について、これまで要望書としてきたが、区民会議から提案や申し入れを行っていくことについては「提言書」という言葉で統一をさせて頂きたい。内容についての変更はないので承知いただきたい。このグループワークで確認をいただき問題なければこの後に開催される全体会に諮り、承認をいただくという流れになる。

「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」については、今後どういう形で提案等を行っていくかを議論していただきたい。こちらのテーマについても全体会で進捗状況報告をする。

■「地域ネットワークの充実」

(事務局)

提言書(案)は事前に全委員に送付した。グループ3の委員には前回の区民会議後に送付して意見をいただいた。提言書(案)の5については、会長からの意見として、学生にも市の情報を取得していただきたいと意見があったため、追加した。

(坂本委員)

学生への具体的な周知方法はどのようなのか。

(事務局)

市と大学とは色々な面で連携しており、市から情報提供する際の窓口があるのでそこを通じて依頼する。担当課の市民協働推進課へ事前に話をしたところ、庁内の他部署が学生へ周知を行う際にも利用しているため、問題ないとの回答であった。

(坂本委員)

学生こそ紙媒体よりQRコードのほうがよい。

(事務局)

5の追加については問題ないか。

(全委員)

異議なし。

(事務局)

その他、文言等について修正がなければ原案のとおり全体会に諮ってよいか。

(全委員)

異議なし。

■「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」

(事務局)

これまでのグループワークにおいて、第1段階として勉強会や視察を行い、第2段階として中央区の花の選定や中央区独自の講座を作り開催してはどうかという意見が出ていた。前回の視察や勉強会を踏まえ、今後の展開について検討をしていきたい。

勉強会では、相模原市で形成された自然には長い歴史があり、市の鳥や木の選定にも妥当な理由があることをはじめ、貴重な話を聞くことが出来た。事務局としては、勉強会のような話

を地域の多くの方たちが聞く機会を設け、相模原市の自然について感じてもらうことが非常に大事だと感じた。可能であれば全体会でも勉強会を行い、委員全員に聞いてもらい共通認識を持っていただければ更によかった。みなさんはどう感じたか。

(坂本委員)

今ある自然を全て次世代に残すというのは難しいのではないか。的を絞って残す方法を検討してはどうか。望地や道保川、東淵野辺2丁目市民緑地を残すためにクラウドファンディングを立ち上げてほしい、財政措置をしてほしいという提言はどうか。

田名は何か自然に関してあるか。

(代田委員)

行事の際、自然の話が出ることはあるが、次世代へ繋いでいく話まではなかなかでない。

(坂本委員)

東淵野辺2丁目市民緑地も購入しないといつか無くなってしまう。

財源を確保するためにクラウドファンディングで広く市民から集めることができれば購入できるのではないか。

(丹波委員)

高齢化もあり、担い手が不足している状況もある。

(事務局)

クラウドファンディングをするにしてもお金を出してくれる側の意識を変えていくことが大事ではないか。第6期で「温暖化防止の講座や環境を守る暮らし方講座などをNPO法人等と連携して地域で開催する。」というテーマを決める際、自然を考えるということの意識づけをしてもらいたいということが根底にあったのではないか。

今回のように外部の講師を呼んで、客観的に地域の自然を見てもらうことにより、「その地域の自然の大切さ」を改めて感じることや、身近な自然から考えられるのではないか。

事務局としては元々の検討テーマに立ち返った中で検討していただきたい。委員のみなさんは自然に対しての意識が高いが、地域に住んでいる方にいかに意識づけをしていくか。斎藤委員からも環境関連をタイトルとしたイベントや講座を公民館等でやっても興味のある人しか参加しないという問題点が出ていたが、どうしたらあまり興味のない人にも聞いてもらうことができるのかを考えていただきたい。地域のふるさとまつりのような場は多くの人足を運んでくれる良い場と考えるがいかがか。

(坂本委員)

市民への啓蒙は大切である。啓蒙と的を絞って自然を残す方法の2本で検討するはどうか。

(山口委員)

東淵野辺2丁目市民緑地の近隣住民から樹木の枝等に関する苦情があると、市は幹から伐採してしまう。大切な自然であり枝の剪定で足りるのに幹から伐採する必要はないのではないか。数年後には枝が伸びるが、その時また枝の剪定をすればよい。最近是对応する前に連絡が来るようになったが、以前は連絡もなく勝手に伐採していた。このような市職員の意識を変えていくことが必要だと考える。おそらく他の緑地等も伐採してしまっているのではないか。

市へ苦情の連絡をする方にも自然の大切さを説明すれば、全てではないがある程度は納得していただけるのではないか。

(事務局)

大前提として職員が率先して環境を守る意識を持つ必要はある。同様に市民一人ひとりが自然環境を守る意識を持っていただければと思う。次回のグループワークでは、どういった方法であれば市民等に意識啓発できるかを引き続き検討する。

以 上

第7期第7回相模原市中央区区民会議小委員会（グループ3） 委員出欠席名簿

No.	氏 名	所 属 等	出欠席
1	齋 藤 奈 美	特定非営利法人and Advance	欠席
2	坂 本 洋 三	相模原市地区社会福祉協議会中央区連絡会	出席
3	代 田 修	田名地区まちづくり会議	出席
4	丹 波 晴 道	清新地区まちづくり会議	出席
5	原 田 克 也	一般社団法人相模原市医師会	欠席
6	森 田 麻 里 子	公募委員	出席
7	八 木 貴 弘	公益社団法人相模原青年会議所	欠席
8	山 口 信 郎	大野北地区まちづくり会議	出席